

「春日井市立神屋小学校出前授業」

水土里ネット愛知用水

平成30年11月9日（金）、春日井市立神屋小学校の4年生児童45名を対象に水土里ネット愛知用水の職員が講師として、出前授業を開催しました。

授業の前半は近藤事務局長が『神屋地下堰堤』について、後半は春日井事務所職員が『愛知用水ができるまで』、『愛知用水の概要』について授業を行いました。

前半の『神屋地下堰堤』の話では、地下堰堤とは何か、神屋小学校周辺の昔と今の写真の比較、どうして地下堰堤を作ったのかといった内容で、生徒と質問を交えながらわかりやすく伝えました。後半の授業では、水が貴重だった知多半島の生活、愛知用水建設へ向けた久野さんと濱島さんの取り組み、水源地の方々の協力があって愛知用水が完成したことなどの説明を行いました。また、水土里ネット愛知用水副読本『愛知用水ブック』を使い、水土里ネットとは何か、愛知用水はどんな仕事をしているか、水源地の森の大切さを伝えました。

出前授業についてアンケートを行ったところ、『神屋地下堰堤が日本で一番大きいということを知って驚いた。』、『いろいろな人の苦労があって愛知用水ができたことが分かった。』、『今こうして安心して水を使えるのは、昔の人のおかげなので、無駄のないように使いたい。』といった感想をいただき、神屋地下堰堤について、愛知用水がもたらす水の大切さ、愛知用水の仕事について理解を深めていただけたことが分かりました。



地下堰堤のお話



積極的に手を挙げてくれました！



水土里ネットってなんだろう？



熱心に取り組む児童たち